



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク
あったかウェルねっとニュース 第40号

2023年2月15日発行

ホームページアドレス <http://attaka2018.starfree.jp/>

2011年3月11日の東日本大震災より12年が経過しようとしています。失われた多くの尊い命のご冥福を祈り続けるとともに、一日も早い被災地の復興・復旧を願い、被災された皆様の安心安全を心よりお祈り申し上げます。

あったかウェルねっとの「ウェル(WELL)」は、Welfare(福祉)、Well-Being(幸福)のWell(大切にという意味)で、「温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり」でありたい、との願いが込められています。

まずは、自分を好きになって、
 みんなとつながろう！

あったかウェルねっと副代表
 吉田より子&カレン

早めのお知らせ！日程が決まりました
2023年度ねっと研修会の日程

2023年度ねっと研修会の日程と講師の方々をお知らせします。詳細は4月以降に改めてお知らせしますので、今からご予約に入れていただけますようお願いいたします。

日時：2023年5月21日(日曜)
 13時～16時

方法：オンライン (Zoom)

参加費：無料

参加対象

あったかウェルねっと会員・賛助会員、社協職員、
 教員、ボランティアなど福祉教育に関心のある方
 どなたでも

テーマ(仮)：地域で共に生きる

～「幸せなみらい」に向けてともに歩むには～

基調講演：原田 正樹氏 (日本福祉大学)

コーディネーター：川田 虎男氏 (聖学院大学
 ボランティア活動支援センター)

シンポジスト

平野 千恵氏 (おおぞら高校川越キャンパス)

高橋 奈穂氏 (一般社団法人レク寺子屋)

※早めのお知らせとなっています。

参加者募集のご案内は4月以降になります。

是非、新年度
 の予定に加え
 てください。

「みなさん、目をつぶってください。みなさんは自分のこと、好きですか？」から始まるのが私の授業です。

「私は全盲で、盲導犬ユーザーです。」

と言いますと、

「うそー？本当に見えないの？」と。

私は目が開いていて、子供たちのほうへキョロキョロと視線を動かしますので、そんな反応が返ってくるのです。

これまで多くの学校に出向きました。今は、小学校は4年生の10歳、中学校は3年生が主です。毎回2時間の授業を受け持ちます。

小学校は45分の2コマ。中学は50分の2コマで展開しています。最初の1時間目はお話をします。次の時間は「触ってわかる・触ってできる」の体験と、見えない人と見える人との考え方の違いを考え合う授業です。

授業では、福祉は「普段の・暮らしの・しあわせ」=『ふ・く・し』、そして、自分のしあわせとみんなのしあわせを考えていくこと。これを毎回、子供たちに伝えています。

私は、自分がしあわせ感を味わっていないければ、自分以外の人に伝える、感じてもらうことが難しいかなー、と思っているからです。

元気で、笑顔いっぱい伝えるからこそ、伝えるのだと思います。しあわせを実感しているからこそ、伝わるのだと思うから。

福祉教育のお仲間に入れてもらえたからこそ、今の私が、笑顔の私が生きています。

進行性の難病で、「いずれ見えなくなります。」と医者に宣告された時、毎朝目が覚めては窓のほうへ。そして、「今日も見える。だいじょうぶだ。」と、心でつぶやきます。そして、今、全盲に。

見えないことを認める、白杖を持つ抵抗感などなどあったけれど、福祉教育のお仲間を支えられて20年です。いいえ、支えられっぱなしではありません。沢山の子供たちとつながり、支えているかもしれません。支えているつもりです。校長先生や担任の先生ともつながっていると実感しています。

福祉教育に出会って、先輩に支えられ、お仲間と支え合って、沢山の人とつながってきました。だから、だからこそ、私は、笑顔で元気に生きてゆけるのです。

これからも、ずうっとずうっと続けて、しあわせ感の波を、つながりの波を、静かに、ゆっくりと伝えていけたらなー、と思っています。

お知らせ

参加者
募集中!

**2022年度冬カフェ
「サポート校」をご存じですか？**
なりたい大人になるためにサポート校だからできること

日時 : 2023 (令和5) 年2月24日 (金曜)
午前10時~11時30分

場所 : オンライン (Zoom)

対象 : 福祉教育推進者や福祉に関心のある方

参加費 : 無料

話題提供者 : 平野 千恵氏 (おおぞら高校
川越キャンパス)

コーディネーター : 小川 和広氏 (川越市
社会福祉協議会)

「サポート校」をご存じでしょうか。
生徒一人ひとりに寄り添ったサポート体制が築かれているサポート高校について知り、若者の現状を踏まえながら、地域の役割や福祉教育について考えましょう。

※メーリングリストでもお知らせしています。

※事前の申込みをお願いします。

件名「2022年度冬カフェ」として、メールでお申し込みください。氏名・連絡先・市町村・所属を明記してください。

申込先 : ねっと事務局 (須田)

メールアドレス attakawelnet@gmail.com

※申し込みをした方には、前日までにZoomの招待メールをお送りします。

訃報

福祉教育にご尽力くださいました櫻井 栄里さん (東松山市) が昨年12月20日に急逝されました。ご冥福をお祈りすると共に謹んでお知らせ申し上げます。

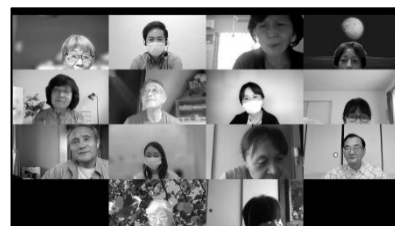
報告

まなびばしゃべりばカフェ 2022年度夏カフェ
“ともに生きる『ふ・く・し』について”を作成して
～埼玉県社協発行の福祉教育パンフレットに
込められた思いって?～

2022年7月21日
(木曜)、オンライン
にて開催しました。

(参加者14名)

埼玉県社協が同年
3月に発行した福祉



教育パンフレット「ともに生きる『ふ・く・し』について」に関わった片桐 啓太氏 (埼玉県社協福祉人材センター) に、作成の過程でどの様な思いを込めたのかを伺いました。

より多くの人に広めるため形として残る媒体が必要と考え、冊子という形式に。福祉を「わが事」として捉えてもらうにはどうすればよいか、何をどの様にどの順番で伝えると良いのか、と試行錯誤しながら作り上げたそうです。平易なことばを選び、福祉教育で活用する人が自分自身のことばで語れる冊子なので、是非手に取って活動に活かしてほしいと、篤く語ってくださいました。

参加者からは、「作った経緯がとてもよく分かった。」「経緯を伺えることが貴重。すごく感動した。」

「福祉マインドの醸成で『耕す』に共感した。」
「今後に向け、とても大事と分った。」等の感想が寄せられました。

JR東日本 大宮支社の サービス品質推進員会議に協力

視覚障害者と仲間の集まり・いどばた
木野ゆずき

2022年11月22日(火曜)、JR東日本のサービス品質推進員会議への協力依頼があり、視覚障害メンバー5名で参加しました。

午後1時から5時30分まで、大宮駅統括センター職員と一緒に4グループに分かれて、駅構内のバリアフリーチェックをしました。後半は、グループワークとなり、プログラムを作るところから職員のみなさんと共に考えました。

普段の駅サポートで出会う方ばかりでなく、いろいろな部署から参加されていました。たくさんの人に支えられているからこそ安全に移動できるということを再認識しました。

令和4年度 奈良県ふくし教育推進研修 で発表 ～ふくふく木曜会の取組～

ふくふく木曜会 一場 千尋
(吉見町社協)

2023年2月9日(木曜)に、奈良県社協主催による標記研修会が開催され、埼玉県内の事例として、ふくふく木曜会から『『ともに生きる』を考える福祉教育の共同実践』をテーマに「当事者を真ん中に置いたプログラムづくり」「他機関・団体とのネットワークづくり」について実践報告を行いました。

埼玉県社協による「埼玉県福祉教育・ボランティア学習推進員養成研修」をきっかけに4市町(東松山市・嵐山町・吉見町・滑川町)協同で福祉教育を推進している「ふくふく木曜会」について紹介し、地域を超えた社協の連携による活動の強み、さらに当事者と共に進める実践を通じた一方的な先入観で考える福祉ではなく「自分らしく生きる」福祉教育の推進について

お伝えしました。プログラムの実践にあたり、関係機関等と共に福祉教育の目的や伝えたいことを共有し、協同し取り組むことにより、地域全体の「出会いの場」「学び合いの場」につながるということについて再確認しました。

日本福祉大学の原田正樹先生の講演や奈良県内の取り組みについても学ぶ機会となり、大変勉強になりました。

県内4市町の社協で養成講座 温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり

あったかウェルねっと事務局長
須田 正子

2022年7月以降も、県内4市町の社協より依頼をいただき、福祉教育の講座を担当しました。

白岡市社協「福祉教育ボランティア養成講座」(7/5)は坪井敏衛氏と、桶川市社協「福祉教育ボランティア講座」(8/2)は今井光子氏(ロービジョンアイの会)と、さいたま市社協浦和区事務所「福祉教育担い手養成講座」

(9/30)は吉村育代氏、高橋キミ子氏と伺い、それぞれ2時間余りで模擬授業やグループワークも組み込みました。伊奈町社協「福祉教育連絡会議」(2023年2/7)では50分間の講話でしたが、「もっと聞きたい、学びたいと心から思いました。」との感想頂きました。地域で活動する市民の皆様、社協職員の方々と直接伝え合うことができ、思いを共有する機会となりました。

コロナ禍であっても工夫しながら、「豊かな福祉観」を育て合う地域となるよう、これからも互いに情報交換し学び合っていきたいと、心から願いました。

若者への福祉教育研究会コーナー

若者の学びを深めるスタディツアー 3月21日～22日に

若者が被災地から学ぶ「東日本大震災スタディツアー(気仙沼、石巻、東松島)」を3月21日・22日に1泊2日で予定しています。

これは、チーム東松山の松本代表が主催した昨年10月から4回開催の「東松山×東松島交流会」に参加したことがきっかけでした。その中で城西大学や東京電機大学、明治大学等の学生が、被災された方々から災害時、復興期、そして現在、どう生き、また、伝えたい思いを学ぶことができました。

若者への福祉教育研究会は、若者自身が学びの中から様々な活動へ転換していくことを目的にしています。災害は日常の生活が壊される事態です。スタディツアーを通して学びを深め、災害時等必要な時に、自らできることを考え動けるような成長につなげてほしいと考えています。

興味のある方がいらっしゃいましたら、2月末までに事務局にご連絡ください。

県社協からの情報

第9回地域福祉推進プラットフォーム

今回は「つながりをチカラに～災害支援に関わる様々な団体を知ろう！つながろう！～」をテーマに開催します。

講師には新井 利民氏（立正大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授）、そして埼玉県内で災害支援に関わる5つの団体からの活動紹介とともに、参加者の皆様から事前いただいた質問にも答えていただきます。その後、グループセッションを通して、近隣市町村で災害支援に関する現状や課題について、情報交換を行います。

知ることがつながるための第一歩ですので、皆様ぜひご参加ください。

日時：3月17日（金）13:30～16:00

実施方法：オンライン（ZOOM）

参加対象者：社協職員、ボランティアなど災害支

援に関心のある方どなたでも

申込フォーム（2月28日（火）締切）：

<https://ws.formzu.net/fgen/S88564209/>



ダウンロードできます

福祉教育啓発パンフレット「ともに生きる『ふ・く・し』について」はHPよりダウンロード可能です。



[https://www.fukushi-](https://www.fukushi-saitama.or.jp/site/volunteer/weltama.html)

[saitama.or.jp/site/volunteer/weltama.html](https://www.fukushi-saitama.or.jp/site/volunteer/weltama.html)

事務局情報

情報提供のお願い

～各地域の福祉教育情報をお寄せください～

日頃の活動や地域の状況、感じたこと、福祉課題などの情報を、会報、メーリングリストその他で共有できたらと願っています。皆さまからの情報をお待ちしています。

ねっと事務局 須田 049-283-1865 (FAX)

事務局アドレス attakawelnet@gmail.com

会費振込先のお知らせ

ねっと活動は会費（年1000円、賛助会員一口500円）で運営しています。原則として口座振り込みとなりました。振込手数料についてはご負担をお願いいたします。

振込先：埼玉りそな銀行武蔵浦和支店

普通預金口座番号：5015782

名義：彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

メーリングリストの登録

会員・賛助会員の方にメーリングリスト（ML）で情報をお届けしています。登録アドレスの申し込み・変更がありましたら事務局までお知らせください。

編集後記

寒さに体が縮む毎日ですが、チューリップの芽が顔を出しています。土の中は春の準備が進んでいるようですね。今号も、原稿をお寄せくださった皆様のおかげで無事に発行することができました。（ほっこり！）ご協力いただきありがとうございます。

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員

ネットワーク（通称：あったかウエルねっと）

編集：あったかウエルねっと（情報担当）

連絡先：埼玉県社会福祉協議会地域活動支援課

TEL：048-822-1435 FAX：048-822-3078

Mail：vc@fukushi-saitama.or.jp